

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年2月8日

【四半期会計期間】 第91期第3四半期(自平成23年10月1日至平成23年12月31日)

【会社名】 旭有機材工業株式会社

【英訳名】 ASAHI ORGANIC CHEMICALS INDUSTRY CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長執行役員 亀井 啓次

【本店の所在の場所】 宮崎県延岡市中の瀬町二丁目5955番地

(同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は下記で行なっております。)

【電話番号】

【事務連絡者氏名】

【最寄りの連絡場所】 東京都港区浜松町二丁目4番1号

【電話番号】 東京 03(3578)6001

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員管理本部長 桑田 雅之

【縦覧に供する場所】 旭有機材工業株式会社東京本社

(東京都港区浜松町二丁目4番1号)

株式会社東京証券取引所

(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	会計期間	第90期	第91期	第90期
		第3四半期 連結累計期間	第3四半期 連結累計期間	第90期
		自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日	自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高	(百万円)	23,426	25,364	32,667
経常利益	(百万円)	402	742	1,035
四半期(当期)純利益	(百万円)	47	277	224
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	197	94	29
純資産額	(百万円)	38,511	37,993	38,678
総資産額	(百万円)	51,350	52,534	52,947
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	0.48	2.84	2.29
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	75.0	72.3	73.1

回次	会計期間	第90期	第91期
		第3四半期 連結会計期間	第3四半期 連結会計期間
		自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日	自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	2.23	0.25

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第90期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、管材システム事業において、当社の連結子会社である中部旭有機販売(株)は、平成23年4月1日付で旭有機販売(株)を存続会社とする吸収合併により解散、北方プラスチック(株)は平成23年7月12日付で清算しております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、東日本大震災による大きな経済的打撃から自動車生産の回復や復興需要を中心に徐々に持ち直してきたところにタイ洪水が発生し、自動車や家電メーカーが大幅減産を余儀なくされるなど、非常に厳しく不透明な状況で推移しました。さらに欧州金融危機や中国の景気減速、円高基調の定着等、依然、予断を許さない状況にあります。

このような事業環境下で、当社グループは震災復旧・復興に全力で協力するとともに、基盤事業の強化、海外事業や新製品販売の拡大に取り組みました。

以上の結果、売上高は25,364百万円(前年同期比8.3%増)となり、営業利益は817百万円(前年同期比51.3%増)となりました。円高による為替差損が前年同期ほどの急騰でなかったことなどにより、経常利益は742百万円(前年同期比84.5%増)、前年同期の退職特別加算金や事業構造改善費用の計上がなかったため、四半期純利益は277百万円(前年同期比489.2%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

管材システム事業

主力配管材料製品は、震災の復旧・復興向けを優先するとともに、主力製品の販売を強化し、販売が安定的に推移したことから、売上高、利益が大幅に改善しました。エンジニアリング事業は、北九州と四日市に駐在所を開設して地域密着型の事業展開を行い、小規模物件の受注を継続して獲得して、売上高、利益ともに大幅に伸ばしました。「Dymatrix™」については、スマートフォン用電子機器の製造装置向けが堅調で、さらに8月に発売した半導体・FPDプロセスのニーズに対応する樹脂製バルブ&フローコントロール製品「Falconics™」の販売が好調に推移し、売上高・利益ともに増加しました。

その結果、当セグメントの売上高は16,342百万円(前年同期比8.9%増)、営業利益は871百万円(前年同期比189.4%増)と大幅な増益となりました。

樹脂事業

鋳物用樹脂及び鋳物用レジンコーテッドサンド(RCS)は、震災やタイ洪水による国内自動車の減産により、また、電子材料用樹脂は液晶パネルの不振により売上高が減少しました。一方、ノンフロン現場発泡断熱材は順調に販売を増やし、売上高は前年を上回りました。利益については、震災後の原料市況の高騰により大幅に圧迫されました。中国の鋳物用フェノール樹脂製造販売会社「旭有機材樹脂(南

通)有限公司」は、中国国内の堅調な自動車生産に支えられ売上高、利益とも伸ばしました。

その結果、当セグメントの売上高は9,022百万円(前年同期比7.1%増)、営業利益は54百万円(前年同期比80.8%減)となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の資産は52,534百万円となり、前連結会計年度末に比べ413百万円減少しました。これはたな卸資産の増加などによる流動資産の増加よりも、投資有価証券を売却したことなどによる固定資産の減少が大きかったためであります。負債は14,541百万円となり、前連結会計年度末に比べ272百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金や短期借入金の増加によるものです。純資産は37,993百万円となり、前連結会計年度末に比べ685百万円減少しました。これは支払配当金が四半期純利益より大きかったことと、その他有価証券評価差額金が減少したためです。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発活動の総額は1,043百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(4) 主要な設備

当第3四半期連結累計期間において、新たに確定した重要な設備の計画は次の通りであります。

建設地	旭有機材樹脂(南通)有限公司 敷地内
セグメントの種類	樹脂事業
設備の内容	電子材料用フェノール樹脂工場の新設
投資予定額	約6億円
設備能力	550トン/年
完了予定年月	平成25年1月

建設地	旭有機材樹脂(南通)有限公司 敷地内
セグメントの種類	樹脂事業
設備の内容	鋳物用フェノール樹脂工場の増設
投資予定額	約3億円
設備能力	7,000トン/年
完了予定年月	平成25年2月

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	199,000,000
計	199,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年2月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	99,002,000	99,002,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数：1,000株
計	99,002,000	99,002,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成23年12月31日		99,002		5,000		8,479

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成23年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,248,000		
	(相互保有株式) 普通株式 216,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 97,051,000	97,051	
単元未満株式	普通株式 487,000		
発行済株式総数	99,002,000		
総株主の議決権		97,051	

(注) 1 証券保管振替機構名義等の失念株式はありません。

2 「単元未満株式数」には、相互保有株式〔旭エー・ブイ産業(株)保有1,467株〕及び自己株式329株が含まれております。

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 旭有機材工業(株)	宮崎県延岡市中の瀬町 二丁目5955番地	1,248,000		1,248,000	1.3
(相互保有株式) 旭エー・ブイ産業(株)	東京都千代田区神田司町二 丁目2番12号	168,000	48,000	216,000	0.2
計		1,460,000	48,000	1,464,000	1.5

(注) 旭エー・ブイ産業(株)は、当社の取引先会社で構成される持株会(旭有機材代理店持株会 東京都港区浜松町二丁目4番1号)に加入しており、当持株会名義で当社株式を所有しております。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成23年10月1日から平成23年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,360	2,591
受取手形及び売掛金	2 12,746	2 13,397
有価証券	78	-
たな卸資産	6,892	7,739
その他	948	911
貸倒引当金	38	28
流動資産合計	23,985	24,611
固定資産		
有形固定資産	13,526	13,291
土地	6,044	6,031
その他(純額)	7,482	7,260
無形固定資産	249	294
投資その他の資産		
投資有価証券	10,294	9,442
その他	4,921	4,921
貸倒引当金	29	24
投資その他の資産合計	15,186	14,339
固定資産合計	28,962	27,924
資産合計	52,947	52,534
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2 6,904	2 7,053
短期借入金	1,500	2,437
未払法人税等	140	136
引当金	-	365
その他	2,921	1,885
流動負債合計	11,466	11,877
固定負債		
退職給付引当金	1,267	1,309
役員退職慰労引当金	285	183
その他	1,251	1,172
固定負債合計	2,803	2,665
負債合計	14,269	14,541
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	8,479	8,479
利益剰余金	26,226	25,917
自己株式	555	557
株主資本合計	39,151	38,839
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	224
為替換算調整勘定	477	623
その他の包括利益累計額合計	473	846
純資産合計	38,678	37,993
負債純資産合計	52,947	52,534

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	23,426	25,364
売上原価	16,019	17,749
売上総利益	7,407	7,615
販売費及び一般管理費	6,867	6,798
営業利益	540	817
営業外収益		
受取利息	21	5
受取配当金	37	45
持分法による投資利益	35	27
有価証券償還益	90	-
その他	35	55
営業外収益合計	218	132
営業外費用		
支払利息	4	12
複合金融商品評価損	82	31
為替差損	192	63
支払補償費	-	88
その他	78	13
営業外費用合計	356	207
経常利益	402	742
特別利益		
固定資産売却益	162	65
投資有価証券売却益	-	5
貸倒引当金戻入額	17	-
その他	43	-
特別利益合計	222	70
特別損失		
固定資産除却損	19	174
災害による損失	-	14
異常操業損失	-	75
退職特別加算金	285	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	19	-
事業構造改善費用	203	-
特別損失合計	526	263
税金等調整前四半期純利益	98	549
法人税等	56	273
少数株主損益調整前四半期純利益	42	277
少数株主損失()	5	-
四半期純利益	47	277

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	42	277
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47	220
為替換算調整勘定	190	146
持分法適用会社に対する持分相当額	2	5
その他の包括利益合計	239	371
四半期包括利益	197	94
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	192	94
少数株主に係る四半期包括利益	5	-

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	
税金費用の計算	主として当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。	

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 手形割引高及び裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
受取手形割引高	113百万円	百万円
受取手形裏書譲渡高	22	111

2. 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。
 なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
受取手形		875百万円
支払手形		223

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次の通りであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
減価償却費	1,292百万円	1,129百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月25日 定時株主総会	普通株式	293	3.00	平成22年3月31日	平成22年6月28日	利益剰余金
平成22年10月28日 取締役会	普通株式	293	3.00	平成22年9月30日	平成22年12月6日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	293	3.00	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金
平成23年10月31日 取締役会	普通株式	293	3.00	平成23年9月30日	平成23年12月5日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額(注)	四半期連結損益 計算書計上額
	管材システム 事業	樹脂事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,005	8,422	23,426		23,426
セグメント間の内部 売上高又は振替高					
計	15,005	8,422	23,426		23,426
セグメント利益(営業利益)	301	281	582	42	540

(注) セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分されない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない基礎
 研究開発費及び報告セグメントが負担する一般管理費及び研究開発費の配賦差額)であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結財務 諸表計上額
	管材システム 事業	樹脂事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,342	9,022	25,364		25,364
セグメント間の内部 売上高又は振替高					
計	16,342	9,022	25,364		25,364
セグメント利益(営業利益)	871	54	925	108	817

(注) セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分されない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない基礎
 研究開発費及び報告セグメントが負担する一般管理費及び研究開発費の配賦差額)であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	0円48銭	2円84銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	47	277
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	47	277
普通株式の期中平均株式数(千株)	97,695	97,675

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

2【その他】

第91期(平成23年4月1日より平成24年3月31日まで)中間配当については、平成23年10月31日開催の取締役会において、平成23年9月30日最終の株主名簿に記録された株主に対し次のとおり中間配当を行うことを決議し、配当を行っております。

中間配当金の総額	293百万円
1株当り中間配当金	3円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成23年12月5日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年2月8日

旭有機材工業株式会社

取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 大塚 啓一

指定社員
業務執行社員 公認会計士 加藤 真美

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている旭有機材工業株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成23年10月1日から平成23年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、旭有機材工業株式会社及び連結子会社の平成23年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。